



# 伊勢志摩版



●「世界一楽しい水族館」をテーマにした絵を披露する児童=伊勢市宇治浦田2の進修小で　▼「私たちの町」をテーマに絵を描く児童=伊勢市東豊浜町の豊浜東小で

伊勢市の進修、豊浜東、明倫、上野の四小学校が、世界の子どもたちが共同で一つの絵を完成させるプロジェクト「世界一大きな絵2020」に取り組んでいる。二〇二〇年の東京五輪に向けた構想で、県内では鳥羽、志摩、伊賀の三市でも進んでおり、五月の伊勢志摩サミットで一緒に披露する計画だ。

(関俊彦)

プロジェクトはNPO法人アースアイデンティティープロジェクト(東京)が主催。子どもたちが絵を通して共で二回実施してきた。

通の喜びを感じ、世界平和への意識を育む取り組み。一九九六年に(関俊彦)

## 平和の心 絵筆で一つ

**コトホーム**  
津市殿舟 059-237-4488  
見積無料

みどりのうた

が入っていました  
孫早くせなママ取  
られないおやつ食べていい?  
いながき・りく(6)=津

（お正月の競争）  
（オードブルに伊勢エビ  
茂子）

（早すぎ）

（ご飯を食べてすぐ）

伊勢市東豊浜町、祖母・吉

野康子

市・志町高野、祖母・稻垣

（ういい？）

にしむら・ふうが(3)

伊勢市東豊浜町、祖母・吉

孫123...8910も

ういい？

（孙）

にしむら・ふうが(3)

伊勢市東豊浜町、祖母・吉

孫123...8910も

## 伊勢の児童ら 各国の子と協力

伊勢市は昨年八月にプロジェクト参加の要請を受け、四校が「児童が世界に目を向けるきっかけになる」「地域の魅力を再発見してほしい」として受け入れた。キャンバスとなる縦一尺、横五尺の白い木綿計五枚が届いた。

進修小学校には布一枚が割り当たられ、二年生三十二人が取り組んだ。昨年九月に社会見学で鳥羽市の鳥羽水

校、大使館を通じて世界百六十三万国に呼び掛けで作品の募集に乗組み。一九九六年に(関俊彦)

伊勢市は昨年八月にプロジェクト参加の要請を受け、四校が「児童が世界に目を向けるきっかけになる」「地域の魅力を再発見してほしい」として受け入れた。キャンバスとなる縦一尺、横五尺の白い木綿計五枚が届いた。

三回目のプロジェクトは二〇一六年にかけて始動していたが、一三年に東京五輪の開催が決定して計画を変更。期間を四年延ばしたほか、全国の小学校、大使館を通じて世界百六十三万国に呼び掛けで作品の募集に乗組み。一九九六年に(関俊彦)

## 東京五輪へ「世界一大きな絵」

うに取り組んでくれた。世界を意識する良いきっかけになつたのでは」と振り返った。

鈴木憲校長(五色)は「子どもたちが楽しそうに取り組んでくれた。世界を意識する良いきっかけになつたのでは」と振り返った。

（法人の川原裕子代表）

五輪の翌年には広島市内の小学校の平和資料館に収蔵する。NPO法人の川原裕子代表は「サミットなど国際的な場で公開されると、子どもたちが世界に目を向けるきっかけになる」と笑顔を浮かべていた。

（伊勢市東豊浜町、祖母・吉）

伊勢市東小学校は、二年生二十六人が地元の豊浜港から望む海、運動場でサッカーを楽しむ児童などが理想の町を表現。上野小学校では、三年生が、伊勢市東豊浜町の鳥羽市で鳥羽市立幼稚園の児童七十人が笑顔を描いており、近く完成話した。